

パブリックエンゲージメントの原則に関する宣言（日本語仮訳）

前文

人類が相互依存的な社会・経済・政治・生態学上の課題に直面することが、加速的かつ歴史的に前例のない規模で、ますます増えてきている。グローバルな統合とデジタル化により、国内外における情報へのアクセスが拡大するなか、社会は学術研究や、その前提条件および仮定を、その方法論の選択と共に、常に理解できるようにしなければならない。パブリックエンゲージメントは包含を可能にし、参加を促進し、研究の健全性を高め、学問に対する不当な攻撃を未然に防ぎ、そして科学研究への公的投資を支援することで、学術と社会との関係を強化する可能性を提供する。

資金配分機関は社会の一員として、それぞれの知識エコシステムにおいて不可欠な主体である。それらは社会、複数の公的集合体（さまざまな市民社会の組織、国所管の機関、民間および公的事業部門、多数の研究者・学界組織を含む）を調整することを常に期待されており、研究の優先順位を定義し、リソースを確保し、議題を設定することで、さまざまな学問領域の間の仲介役を担っている。

包括的な考慮事項

1. 公的資金助成研究から生じる知識は、社会に帰属する。
2. パブリックエンゲージメントは、全参加者間で包摂性と批判的思考を育みながら、社会全体の教育と訓練を拡大する。
3. パブリックエンゲージメントは、有意義な参加を拡大し、学術的専門知識への信頼を向上させる。
4. パブリックエンゲージメントは、知識の共有や研究の優先順位や視点の設定、リソースの分配に関する助言、研究結果と影響を決定する多様な人々の関与を含む可能性のある、多種多様な形式や行いを取る。
5. 学問のすべての分野と領域は、パブリックエンゲージメントから恩恵を受けている可能性があるが、より基本的な研究活動とより応用的研究活動の間の実際の強調点は多様になる。

6. 資金配分機関は、研究を支援し、知識エコシステムの能力と機能を拡大させ、公的資金の投資に対する説明責任の改善を確保することで、学術研究と社会の間の主な仲介となる。

原則

GRC 参加者は、

1. パブリックエンゲージメントは、研究者と様々な「公共」間で促進される意図的で有意義な活動であり、それにより知識の共同構築は強化され、相互学習はすべての人に利益をもたらすということを認識する。
2. それぞれの知の分野で、さまざまな公衆による学問への有意義な関与を最大化するには、具体的に的を絞った、精細なアプローチが必要であることに同意する。
3. パブリックエンゲージメントへの資金配分を含める方向にある公的資金配分機関のポートフォリオの拡張を認識する。
4. 学問とのより広いパブリックエンゲージメントへのサポートと促進には、リソースの適切な活用が必要であることを認める。
5. さまざまな公衆との知識の共創は、研究の優先順位や戦略の特定や展開を行う初期段階、公衆に研究に関与してもらう中期段階、および公衆に研究の影響と成果をもたらす利益やその理解という基礎段階を含み、研究のすべての段階で行われることに同意する。
6. パブリックエンゲージメントの監視、評価、学習指標の共有は、資金配分機関がその組織能力を適応させ、機関間のパートナーシップを強化することを認める。